

小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
植物の体とはたらき / 理解シート

ジャガイモのいもは、実なの



いもは、実ではないよ。実は、花のめしべの先に花粉がついて、できるものなのさ。

ジャガイモは、実がなる植物だった

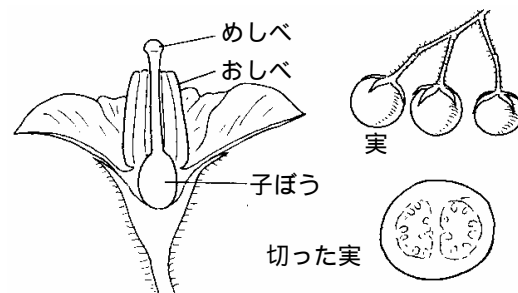
ジャガイモには、トマトやナスによく似た、花がさきます。けれども、花の後に実がなっているのは、あまり見かけません。人間が長い間、品種改良を続けてきたため、実ができにくくなっているのです。

野生のジャガイモには、実がなります。畑のジャガイモでも、ときどき、ミニトマトによく似た、ピンポン玉ぐらいの大きさの実がなっていることがあります。この実には、毒がありますから、食べてはいけません。

ジャガイモが子孫を残すには、実より、いものほうが確実

ジャガイモの実が黄色にじゅくした後、中の種を植えると、芽が出て、育っていきます。そして、地面近くの葉のつけ根から、管がのびて土の中にもぐり、その先に、いももできます。ただし、種では、デンプンなどの栄養をたくさんもっている、たねいもを植えたときより、芽が出るのや成長するのがおそく、できるいもの数も少ないです。

そのため、ジャガイモが子孫をたくさん残すには、いもでふえたほうがつごうがよいといえます。人間も、できるだけたくさんしゅうかくのいもを収穫できるように、今のようなジャガイモに、品種改良してきたのです。



<ジャガイモの花と実>



ジャガイモも、花粉をめしべにつけると、実がなることがあるのよ。